

令和8年度 生活習慣病予防健診 変更点

- 診療報酬の改定等にともない、令和8年4月から生活習慣病予防健診の自己負担額が変更となります。
- また、新たに「一般健診(若年)」「骨粗しょう症検診」が補助の対象として追加となります。

● 令和8年度から自己負担額が変更となります

健診の種類	自己負担額	
	令和8年度	令和7年度
一般健診 ※	最高 5,500 円 (協会補助額 14,135 円)	最高 5,282 円 (協会補助額 13,583 円)
節目健診(旧付加健診)	最高 8,280 円 (協会補助額 21,266 円)	最高 7,971 円 (協会補助額 20,497 円)
希望者のみ	50 歳以上 最高 980 円 (協会補助額 2,507 円)	50 歳以上 最高 1,013 円 (協会補助額 2,606 円)
	40 歳～48 歳 最高 1,700 円 (協会補助額 4,372 円)	40 歳～48 歳 最高 1,574 円 (協会補助額 4,047 円)
	最高 990 円 (協会補助額 2,530 円)	最高 970 円 (協会補助額 2,493 円)
肝炎ウイルス検査	最高 540 円 (協会補助額 1,374 円)	最高 582 円 (協会補助額 1,497 円)

※ 令和 8 年度から、一般健診の検査項目に「喀痰細胞診検査」が追加されます(対象者のうち希望者のみ)。問診の結果、50 歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）が 600 以上の方のうち、検査を希望される場合は、一般健診とあわせて受診が可能です。

- 令和8年度から新たに補助を開始します

- ✧ 一般健診（若年）

一般健診の項目から、胃・大腸の検査を省略した若年者用の健診です。

対象者 20歳、25歳、30歳の方

自己負担額 最高 2,500円

- ✧ 骨粗しょう症検診（希望者のみ）

問診や骨の中にあるカルシウムやマグネシウム等の成分量を測定することで、骨粗しょう症の予防と早期発見を目的とした検診です。

対象者 一般健診を受診する 40歳～74歳の偶数年齢の女性の方

自己負担額 最高 1,390円※

※ 骨粗しょう症検診の自己負担額は、検査方法（レントゲン・超音波）や部位によって異なります（250円～1,390円）。ご予約の際に健診機関へご確認ください。

「令和8年度 健康診断のご案内」は、令和8年3月末頃に、事業所様あてに発送予定です。3月末頃に発送するご案内には、健診の種類や受診時の注意事項等について詳しく記載したパンフレットを同封しておりますので、そちらもあわせて確認いただきますようお願ひいたします。



全国健康保険協会岐阜支部 保健グループ